

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	浜町青年館解体事業			基本計画	節	6	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	4		施策の方向	
課係名	生涯学習課社会教育係	内線			施策	1		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	2		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	指定管理先であった地元自治会への払下げを模索していたが、令和2年度4月以降は使用しないとの申し出があったことから、現在は全く使用していない。土地は藻原寺が所有しており、敷地内にお堂があることや駐車スペースがないことなどから公共施設としての利活用は困難である。また、お堂利用者の妨げとなっている。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	青年館の南側にはお堂もあり、敷地内に人の出入りがあることから、老朽化等により利用者に危険が及ぶ前に速やかに解体する。
実現するための課題(問題点)	敷地への入口からお堂に続く敷石があり、青年館解体時に損傷が避けられないことが分かっている。土地の所有者である藻原寺は原状回復を希望しているので、石を新たに購入し、敷きなおす必要がある。 ※現状埋まっている石を一度撤去してから戻すことは技術的にできないとのこと。
具体的な取組(解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・お堂と共有していたガスメーターの移設 ・アスベスト調査委託 ・解体工事に係る設計委託 ・解体工事+原状回復

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
		名称		5年度	6年度	7年度
	■ 活動指標	①				
		②				
■ 成果指標						

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②
			③	④
		補正予算要求理由		

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期令和5年度 ~ 終期令和7年度]	内容	公共施設等適正管理推進事業債(除却事業)償還

事業費の積算(千円)	5年度	ガスメーター移設 工事請負費 200千円(税込)	事業費	1,141	人工数		事務スケジュール	年月	内容
			国県			0.05		5.4	藻原寺との調整
			市債	800	人件費			5.4	建築課へ設計監理依頼
	その他		378		6.4	建築課へ設計監理依頼			
	6年度	解体工事設計委託 委託料 1,507千円(税込)	事業費	1,507	人工数			7.4	藻原寺との調整
			国県			0.05		7.4	建築課へ設計監理依頼
			市債	1,300	人件費				
	7年度	解体工事 工事請負費 14,080千円(税込)	事業費	16,321	人工数				
			国県			0.05			
			市債	12,600	人件費				
		原状回復(アスファルトおよび敷石) 工事請負費 2,241千円(税込)	その他		378				
	一般財源		3,721						

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境や市民ニーズと整合があるか。 ・市が事業を行うことについて妥当であるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	土地の所有者である藻原寺が原状回復を希望しており、利活用の見込みがない以上は速やかな解体が望ましい。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。 ・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	市民ニーズに沿った公共施設の管理であるため、施策「行政改革の推進」に寄与する。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	現状としては著しい損傷や倒壊の恐れなどはないが、将来的にそのような状況になることも十分想定され、一部補強など場繋ぎ的な支出を防ぐことにつながる。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> ・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。 ・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	除却債の利用により、一般財源からの支出を抑えることができる。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	他の事業との優先順位を考慮し実施は見送るべきと判断する。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	地元負担も検討するなど十分精査がなされているとは言えないため、実施を見送るものとする。
	■庁議による方針		
	評価		具体的な方向性
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。